



松前町の農水商工の恵みが集結

第5回まさき町産業まつり「たわわ祭」

第5回まさき町産業まつり「たわわ祭」は11月11、12の両日、まさき村店舗前駐車場で開催しました。

会場では、松前町の特産品を販売したほか、町が誇る技術を展示。さらに、姉妹都市の北海道松前町からも役場職員が来町し、海の幸などを販売しました。また、ステージには、エミフルズ、愛の葉ガールズやみきゃん・マッキーなどが登場し、来場した延べ2万4,000人を楽しませました。



1_オープニングの餅まき 2_多くの人が来場した会場 3_行列ができたブース 4_新鮮な地元の野菜を販売 5_接客で笑顔があふれる 6_お味はいかが 7_花も松前産。会場には町の特産が集結した 8_ジャンケン大会ではしゃぐ子どもたち 9・10_ステージパフォーマンス。会場が一体となって歌と踊りを楽しむ



えひめ国体の功績をたたえて

松前町表彰授与式

松前町表彰授与式は11月2日、役場で行いました。今回は、えひめ国体での功績をたたえ、河野颯次郎さん＝東古泉＝、中矢遥香さん＝北黒田＝を表彰しました。

河野さんはボート競技少年男子舵手付きクォドルプル、中矢さんは女子柔道団体に出場。これまでの練習の成果を発揮して、チームの優勝に貢献しました。

詳しくは、今月号（河野さん）と来月号（中矢さん）の「行ってこーわい 会ってこーわい」で紹介します。



河野 颯次郎さん
こうの・そうじろう

松山東高等学校3年生 東古泉

*ボート少年男子舵手付きクォドルプル優勝

高校生からボート競技を始める。

えひめ国体では、4人でボートを漕ぎその速さを競う「舵手付きクォドルプル」に出場し、ボートの1番後ろ（進行方向の1番前）の「パウ」と呼ばれるポジションを任された。このパウは、漕ぎにくいポジションであるため、最も技術が要求されるところとなるが、日々の練習の成果を発揮しチームの優勝に貢献した。



中矢 遥香さん
なかや・はるか

新田高等学校2年生 北黒田

*柔道女子団体優勝



4歳から柔道を始める。

えひめ国体では、団体戦の中堅（3番手）として出場。いつも出場している階級とは一つ上の階級の選手と対戦することとなり、苦戦を強いられる。しかし、海外での試合など今までの自身の経験を生かして、焦ることなくポイントを着実に重ね、チームの優勝に貢献した。



環境に優しい社会を考えよう

3R 啓発ポスターコンクール

循環型社会のあり方を考える機会として、3R（廃棄物などのリデュース、リユース、リサイクル）啓発ポスターを募集しました。本年度は101人の小中学生から応募があり、最優秀賞に郷田朋佳ちゃん（岡田小5年生）と横山美優さん（松前中3年生）の作品が選ばれました。郷田さんは、環境省と3R活動推進フォーラム主催の3R促進ポスターコンクールでも佳作に選ばれました。



岡田小5年
郷田朋佳ちゃん



松前中3年
横山美優さん





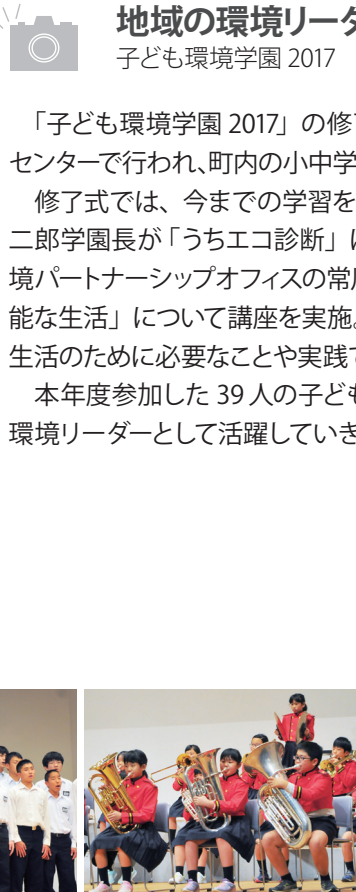
新米おにぎり いただきます 青葉幼稚園「おにぎり大会」

青葉幼稚園の園児と松前町生活研究グループ連絡協議会の皆さんは10月26日、「おにぎり大会」を楽しみました。同大会では、徳丸農業区の皆さんの手を借りて収穫した新米をおにぎりにし、生活研究グループの皆さんとはだか麦入りのすいとんを調理。園児たちは自分で握ったおにぎりを頬張りながら「おかわり」の元気な声を響かせていました。有田眞咲くん＝中川原＝は、「おにぎりもすいとんもおいしかった」と話していました。



地域の環境リーダーを育む 子ども環境学園 2017 修了式

「子ども環境学園 2017」の修了式は10月21日、文化センターで行われ、市内の小中学生34人が参加しました。修了式では、今までの学習を振り返りながら、砂田弘二郎学園長が「うちエコ診断」について、環境省四国環境パートナーシップオフィスの常川真由美先生が「持続可能な生活」について講座を実施。みんなで地球に優しい生活のために必要なことや実践できることを考えました。本年度参加した39人の子どもたちは、今後、地域の環境リーダーとして活躍していきます。



㊤岡田中学校の合唱
㊦松前小学校の金管バンド
㊧伊予高等学校の吹奏楽



子どもたちが音楽で交流 2017 松前町児童生徒音楽発表交歓会

「松前町児童生徒音楽発表交歓会」は11月9日、文化センターで開催され、町立幼稚園、小・中学校、ひまわり少年少女合唱団、伊予高等学校吹奏楽部の皆さんが参加しました。交歓会は、松前・古城幼稚園児の元気っぱいの歌と合奏でスタート。続いて、各小中学校の出演者が、息の合ったハーモニーや手拍子を入れながらの合奏などを披露し、会場に来た多くの人を目と耳で楽しませました。その後、伊予高等学校吹奏楽部の皆さんがトリを飾り、計3曲を演奏。迫力ある演奏で会場を魅了しました。各学校の発表が終わった後は、参加者と観客全員で「ふるさと」を合唱。会場が一体となって音楽を楽しみました。



武智和孝さんを委嘱 人権擁護委員

10月1日付けで、法務大臣から武智和孝さん＝西古泉＝が人権擁護委員に委嘱されました。人権擁護委員は、皆さんの身の回りの人権に関する相談に応じ、原則毎月第4水曜日、文化センターで人権相談を行っています。相談は無料で秘密は厳守します。時間など詳しくは、毎月の広報のお役立ちカレンダーをご覧ください。



みんなで男女共同参画を考える 松前町 / フレッシュ・リブまさき「男女共同参画学習会」

「男女共同参画学習会」は11月19日、文化センターで行われ、学校PTAや女性団体など約100人が参加しました。学習会では、愛媛県版イクボス「ひめボス」実践研究講師の和泉智子さんを迎え、講演を実施。産後の職場復帰など自身の経験を踏まえた話に、参加者は熱心に耳を傾けていました。その後、「家庭で」「地域で」「職場で」をテーマに、自分たちが男女共同参画で実践できることを考えました。まとめたものは、1月下旬から役場1階で展示します。ぜひご覧ください。



万が一に備えて 愛媛県原子力防災訓練

「愛媛県原子力防災訓練」は11月14日、県内外で行われ、本町の訓練には防災業務関係者や伊方町民など約80人が参加しました。この訓練は、地震が発生し、伊方原子力発電所で放射性物質の放出による原子力災害が発生した場合に備え、組織の枠を超えた協力体制の強化を図るとともに、原子力防災への理解を深めようといわれたものです。原子力災害時、避難者を受け入れることとなる本町でも、避難者や物資の受け入れ訓練などを松前公園で、要支援者の受け入れ訓練を軽費老人ホームひまわり苑で行いました。訓練後は、原子力安全技術センターの職員が原子力防災に関する講座を実施。参加者は、実践と座学で防災への意識を高めていました。

- ㊤非常用持出袋を持って避難する
- ㊦みんなで協力して物資を運搬する
- ㊧避難者を受け入れ。避難者名簿を作成する

